

「以外」の「以内」に対する対義語としての適正性

名前: 小林 紀葵 学生番号: 23B20714
東京工業大学物質理工学院

1. はじめに

「以内」の対義語は「以外」ではないのではないかと考え、それぞれの意味と対義語の定義から考える

2. 方法

今回は「以内」と「以外」の意味については広辞苑第六版を、対義語の定義は加藤 祥 他(2021)を参考にする

3. 結果

以内・・・それを含み、それよりうちがわ。また、距離や時間数量などで、それより少ない範囲。

以外・・・1. それを除く、ほかのもの。そのほか。2. ある範囲より外側。

加藤 祥 他(2021)の中で定義されている対義語の分類の中から関連のありそうなものを抜粋する

相補: ふたつの単語XとYがある条件下で概念の領域を分割する対。一方が肯定されれば他方が否定される。中間段階を認めない。

以上の内容から考えると距離や時間数量などの条件下においては対義語ととらえられなくもないが、少し疑問の余地が残る。

4. 考察

結果で書いた疑問の余地について述べていく。

距離などの条件下において「以内」と「以外」が概念の領域を分割するためには

3km以内 \Leftrightarrow 0~3km以外

といったように「以内」では数値を、「以外」では範囲を指定しなくてはならず、少しずつ感じられる。また、その条件下においては「以内」の対義語としては

3km以上や3位以下といったように「以上」や「以下」のほうがより適切であると考えられる。

距離などの条件下以外では対義語の定義に当てはまらないと考えられるため「以内」の対義語を「以外」とするのは適切ではないのではないかと考えた。しかしどの辞典を調べても「以内」の対義語は「以外」とされており何か別の要因もあるのではないかと感じた。

5. おわりに

「以内」の対義語は「以外」であるのかを単語の意味と対義語の定義によって調べた結果特定の条件下においては対義語と言えなくもないが疑問の余地が残るという結論に至った。

文献:

加藤祥 浅原正幸 森山奈々美 萩原彩矢美 山崎誠,『分類語彙表』に対する反対語情報付与,自然言語処理,28巻,1号,pp60-81,2021.

<https://doi.org/10.5715/jnlp.28.60>

必ず文献を付ける。Google Scholarで調べると良い。URLを掲載すると減点する。